

モニター通信 No.5

皆さんから寄せられた「モニター通信 1 月分」を紹介します。

「消費税 10 パーセントの改正について」 ～消費税の引き上げは家計などにどのような影響を与えますか～

モニターから No. 1

2017 年 4 月に予定されていた消費税 10% への引き上げが延期になった際、ひとまずホッとしたというのが本音です。なかなか収入が上がらない中、日々の出費の中で現在の消費税 8% は大きなウェイトを占めています。それが更に 10% となると、やはり消費を控える方向に考えざるをえません。

納税は国民の義務ですし、税金を正しく使ってくれるのであれば、苦しい中でも「世の中の為に」、「相互扶助の為に」と納得出来ます。しかし、国の税金の無駄遣いや不正使用が目に見える現状では、一般消費者にダイレクトに負担がかかる消費税の引き上げには不満が残ります。2019 年 10 月に引き上げが延期されましたが、それまでにもう少し税金の使い道や仕組みについて、改善して欲しいものだなと思います。

モニターから No. 2

私は、日々の生活に相当打撃を与えるものと思います。現在の 8% でも、重税感是十分感じられます。私自身は、今後必要最小限の買い物しかしない考えであり、「ぜいたくは敵」との戦争中の「たとえ」を十分頭に叩き込みたいと思います。昭和から平成にかけて誰もがそれなりに裕福感を味わってしまったので、なかなか質素倹約の生活は難しいかもしれないが、情勢が変わってしまったのでやるしかないと思います。医療、介護、年金等社会保障に誰もが世話になることなので、健康寿命の維持に自分なりに取り組み、微力ながら貢献したいと思います。

国民にこれだけ大きな負担を強いることになったのだから、国会議員一人ひとりの歳費の大幅なカットや、議員定数の削減もぜひやって欲しいものと思います。いずれにしても貧しいながらも楽しい我が家を心に、日々邁進していきたいと思います。

モニターから No. 3

2 年半延期していた消費税が 2019 年 10 月に 10% になるらしい。給料、年金、皆違うのに消費税は一律だ。軽減税率はどうなっているのだろう？食品・医者・薬代・日用品は負担を軽くして欲しいです。

(我が家の対応策)

車・家電・家具等高額商品の購入を考えています。海外旅行も行こうと思っています。

モニターから No. 4

消費税の引き上げは、年金生活者にとって大打撃です。消費税は社会保障の安定化を図るため

であり、少子高齢化で働く世代への負担が増加していく中、国民全体で負担し社会保障を賄っていかうと言う趣旨で、これには理解できます。しかし、端的に言って物の値段が10%上がって家計の負担が増加するとともに景気の悪化を招くことは明らかです。増税は個人の消費が減り、ほぼ確実に景気が後退しかえって税収が減ります。この点、政府の増税に対する「5兆円規模の経済対策」に期待し、我々末端まで生活の安定を図ってほしいと思います。

政府は増税を27年度から29年度に先送りしました。これは世界経済情勢と国内経済状況を見てとのことでした。国内景気の悪化を分析したことと思います。この情勢下で、私たちは何を考えればよいのでしょうか。とりあえず節約して無駄遣いをしないことを実践することとします。10%増税では、平均所帯で年間37万円の負担増とのこと。我々年金生活者はそれ以上の負担増となります。そのため政府には、年金支給額の減額や社会保険料の引き上げを止め、抜本的な社会保障制度の見直しを増税時に実施をするよう要望します。

モニターから No. 5

父は40年前、東京の住宅街でタバコ屋をやっていました。訪ねて来た税務署の方に「うちdのような小さい所よりもっと稼ぎの大きい所から税金取ったら？」と言ったら「税金は取りやすい所から取るものです」と答えたそうです。その言葉を聞いて父は脳貧血を起こして倒れました。納税者を殺してしまつてはと、税務署も少々驚き慌てたと聞きました。

消費税が10%に上がるということは、何でもかんでも値上げするということですが、社会保障等が安定するなら？仕方ないと思っています。国民は生かさぬように殺さぬように。私たち力のない年金生活者は腹を立てて死なないように、消費税が上がった時にはすべての生活において切り詰め節約の努力しかないと思っています。自分たちはとにもかくにも、子孫たちが避けることも逃げることも出来ない格差社会が進めば国力は落ちるでしょう。国民を殺さぬように願うだけです。

モニターから No. 6

消費税の引き上げは、我が家の家計を圧迫しております。食費をはじめ、教育費等、毎月かなりの出費で正直大変です。所得が上がる話はないのに消費税は上がり、買い物をすればほぼ確実に国民の義務として払わなければなりません。私の周りも同じように感じている人が多く、テレビで言っているような景気の回復は全く感じられません。

今、このような状態で消費税の引き上げをしたら、日本の経済は大変なことになると思います。私達も節約をしていますが、国もいろいろ見直し消費税の引き上げなどばかり考えないで、引き下げなども検討してほしいものです。

モニターから No. 7

始めは3%だった消費税が5%になり、8%になり、ついには10%になるという。1,000円で100円の税金はやはり、消費者としてはかなりの痛手となる。高額で大きな買い物は少しでも前倒して、8%のうちに買ってしまおうと考える人が大勢いて、一時的に消費は伸びるが、その後、一気に冷え込むだろう。

今回の増税は社会保障費に充てる目的ではあるが、それも一時的な補てんにしかならず、すぐに不足することは目に見えている。景気が良いとは言えない今の状況での増税は、国民の負担を

増加させ、生活をさらに苦しくするだけの気がする。それでもしなくてはならない増税なら、せめて大切に使って欲しい。せめてもの願いだ。

モニターから No. 8

消費税が10%になるという。現在の8%になった時、3%アップでもずいぶん物価が高くなった気がしたものだ。年寄りはいよいよ大きな物を買うことがなくなったものの、やはり日常生活にひびくであろうことは確かだ！！夫を亡くし、年金も今までの半分になった今、被服費や娯楽費などを極力控えるようにしようと思う。年を重ねるごとに医療費等の比重が増すのであろうことから、すべての面で節約を心掛けねばならないと思う。国民の一人一人がお互いの譲り合いの精神で、自分に出来る努力はすべきだろうと思う。

そうすると、やはり健康に気を付け、栄養のバランスを考え、美味しく食べ、趣味を楽しみ、生活も工夫して残りの少ない人生を意義深く、味わいのあるものにしたいと思う昨今である。

モニターから No. 9

消費税改定を国が勧めるのも理解できるが、年金生活の我々は圧迫を受け大変です。5%→8%→10%へ暫時の値上げだが、最初は憤りを感じるが人間慣れてしまうと普通になってしまい、何もなかったようになってしまう。

消費税は本当に評価され適切に処理されているのでしょうか、疑問が一杯です。我々は否応なく納めさせられています、企業・個人経営者たちはどうでしょうか。確かに管理者がいますので申告に対しては適格な処理をしていると思いますが、申告までの不正はどういうものでしょうか。気になります。いずれにせよ改定には反対ですが、1個人が訴えてもはかないと思います。最後は多数決により強硬に実施されると考えると悲しい気持ちです。

モニターから No. 11

年金生活者になってから、消費税の値上げに戦々恐々としております。何故なら年金は少しずつ下がり、介護保険料は天引きの自動引き落とし、健康保険料も驚くほど高く収入分は確実に減っています。もう大きな買い物はしないつもりですが、毎日の日々の暮らしに消費税はついて回ります。でも税金が足りなかったら国の予算もまわっていきません。生活を考えれば消費税値上げは反対ですが、そうも言えず渋々ながら10%は認めないといけないと思っています。ヨーロッパ諸国の消費税はずっと高いですもの……。食品は8%で他のものは10%で……。というわけにはいかないのでしょうか？！

高校の授業料無償化、給食とも無償の自治体も多いとか……。福祉は財源を確保してから充実してほしいと思っています。

モニターから No. 12

まさに5%から8%の改正の時に強く感じたことですが、便乗値上げがありました。品不足ということで出荷調整があり、特に値を張る品物、第6回のテーマであるリフォームで経験しました。それでも注文するしかありませんでした。すごく高くなったので、悔しい思いをしました。

海外と比較すると少ない方と言われますが、税の使い方を慎重にして欲しいと思います。日本の国の借金が増えるばかり。人口は減るし、今後さらに消費税が増えるということがないとは言

えません。国は借金を減らすつもりはない、回ってれば良いのだと聞いたことがあります。まさに自転車操業の様相です。家計の影響はもちろん大です。

モニターから No. 13

消費税10%導入は先送りされましたが、10%になることは決定しているので、今後の消費はさらに冷え込むことは予想できます。8%から10%はほんの2%ですが、5%から考えると倍になります。考えただけで憂鬱になりますが、国の決定であれば致し方ないですね。

消費を控えると言っても、食料品や日用品は無くなれば買わざるを得ません。対策と言う対策はないかもしれませんが、商品の価格を常日頃から把握し安くなった時にまとめて購入したり、ポイントを利用したりとささやかな積み重ねが大切だと思っています。

世の中を憂うばかりでなく、前向きにとらえ日常生活を賢く生きる術を考えていきたいと思っています。

モニターから No. 14

消費税10%への引き上げには、正直納得できないところです。家計への影響は大きな打撃となることは目に見えています。国会の審議を見ていると、本当に無駄な時間を費やしている事案が多いと思われま

モニターから No. 15

昨年末、夫が定年になりました。所得が減って引き締め経済を強いられる状況なのに、消費税が上がってしまうのは辛い現実です。車を買う予定ですが、せめて上がる前に買いたいと思っています。また年金が下がるというのに消費税が上がっては、年金生活者にとってはますます厳しくなりますね。でも去年生まれた二人の孫を見るにつけ、この孫たちの未来に負の遺産を残してはいけないと思う気持ちがわいてきたのも現実です。

モニターから No. 16

消費税は、そういう税制は作らないはずだったものが、いつの間にか作られ、定着してしまった。また、消費税込みとか言って売るくせに、その取った消費税を税務署に納めない業者も多いと聞く。また税制上、消費者から取っても税務署に納めなくていいとされている業者もあり、そういう業者からは益税とまで言われることさえある。そういうことをすべて無視して徴税され、消費者が支払った金額の何十パーセントかは税務署に入って、何かに使われることも定着してしまった。

すでに8%が取られるようになっており、実感としてはこれが10%になったところで家計の負担はいきなり大きくならないと感じさせられるまでになってしまっている。適正な運用が期待できるなら、受け入れるしかならろうと思う。

モニターから No. 17

2017年4月に予定されていた消費税率10%への引き上げが、2年半後に延期になりました。2014年に消費税率が5%から8%へと引き上げられた際、家計にはかなりの痛手になったので、今回引き上げが見送られたことは正直安堵する気持ちもありました。しかしながら一方

で消費税増税延期により必要な財源を確保できず、今後の社会保障制度の将来に不安も感じられます。

ここ数年、社会保険料の値上げや震災による復興特別消費税の導入などで支出が増し、経済的に厳しい家庭が増えているのではないのでしょうか。老後破産や子供の貧困が社会問題となっている昨今。少子高齢化社会の到来により、受給できる年金額も益々厳しいものになると思われます。格安スマホに乗り換えたり、ガスの小売り自由化がスタートするにあたっての検討を考えるなど、前向きに対応出来るように心掛けたいです。

モニターから No. 18

消費税はすべての人の消費行動に平等にかかるが、所得格差により不平等感が生まれる。所得の伸びが考えにくい年金生活者は、今より2%の負担増をどのように凌ぐかを考えている。BHN(生活基盤)は変えようがなく、外出を控えるとか衣類などの消費は現状維持ができれば消費活動をしないという位は誰でもするだろう。

また消費税増税により国が潤うだけでなく、地方も潤う政策が出てくるかどうか関心を持っている。ヨーロッパ諸国より低い税率で経済成長を維持するのは、現在の国の借金と少子化などにより不可能ではないか。低成長で超高齢化社会を幸福感ある社会にするのは、消費税増税のスピードを上げなければならないだろう。問題は増税した分である。国の施策により地方が困窮することのないよう、特色ある地方の施策をサポートするような、消費税増税の基本姿勢を構築して欲しいと思う。

モニターから No. 19

身近な範囲で考えてみると、主人の退職後の年金生活では家計に直撃。節約生活しかないだろう。パートの私は時給が上がらず、支出を抑えるのに苦勞するのが目に見えている。NPO法人に勤める息子にとって仕事は地域貢献においてやりがいがあるが、ボーナス無し、昇格無し。未来ある若者の夢が押しつぶされそうな消費税10%である。

一部では連続した増額給与だが、それは恵まれている正社員、大手企業、公務員だけがアベノミクスに該当し、それ以外の人たちには格差社会に容赦なく追いついていく消費増税10%であり、未来が暗くなりつつあるのではないかと。

モニターから No. 20

消費税の引き上げは家計に大きな負担となり、大変困ります。5%→8%になった時も3%アップのはずが5%の値段に8%の税率がかけられているのでは？と思うほどの便乗値上げがありました。10%になったらどうなるのだろうと不安です。

年金生活者にとっては節約をすることくらいしか出来ませんが、節約にも限度があります。これ以上の消費税の値上げは困ります。しかも年金は先細りで、介護や医療の給付は抑制、負担増は目に見えています。財源不足の穴埋めをすぐに消費税に結び付けるのではなく、税金の使い方に熟慮して無駄を無くし、効率の良い配分方法をお願いしたいです。

少子化に加え超高齢化に伴い、ますます費用は膨らむことでしょう。これからの生活に不安を抱かざるを得ません。